

2021年度 東アジア比較会社法演習について

2021年5月

後藤 元

本演習では、朱大明教授、権鍾浩教授、蔡英欣教授の3名の客員教授をお招きして、主にコーポレートガバナンスとM&Aに関する中韓台日の会社法制を比較法的観点から分析することを目的としたものです。

残念ながら、新型コロナウイルスの影響により権教授と蔡教授に来日して頂くことが困難となったため、Zoomを用いたオンライン（ハイブリッド）形式で実施することになりました。この関係で、授業時間帯が変則的になっていますので、履修に際して注意して下さい。詳細は下記の通りです。

- 授業日時：2021年8月4日（水）、8月5日（木）、8月6日（金）
 - ①9:30-11:15、②11:25-13:10、③14:10-15:45、④15:55-17:40
 - *上記のほか、2021年7月1日（木）午後に開催される説明会または追加説明会のどちらかに必ず出席すること

- 授業形態：Zoomを用いたハイブリッド方式
 - 権教授と蔡教授はオンラインで、朱教授と後藤は教室から参加する予定です。
 - 参加者を3グループに分け、報告を担当する回が含まれる日に対面式で参加してもらいます（対面式参加が困難である場合は個別に相談して下さい）。
 - ZoomのURLはITC-LMSで7月末までに開示します。
 - 新型コロナウイルスの状況次第では、全面オンライン方式となる可能性もあります。その場合もITC-LMSで連絡します。

- 授業の進め方
 - 初回のガイダンスを除いて、2コマを合わせて1つのテーマを取り上げます（テーマの詳細はシラバス参照）。
 - まず、履修者がガイダンス時に分担を決めたテーマについて日本の法制度や問題状況を報告する（40分程度）。その上で、講師から中国・香港、韓国、台湾の法制度についての説明を受け（各40分程度）、全員で議論する（40分程度）。途中で適宜休憩を挟む予定です。